

2024年3月11日

## 国際協力機構(JICA)「2023年度『中小企業・SDGsビジネス支援事業』」に 当社のカンボジアでのビジネス化実証事業に関する提案が採択 ～ 安全・安心な生活用水提供に貢献 ～

日立造船株式会社は、独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）が2023年9月に公示した「2023年度『中小企業・SDGsビジネス支援事業』」において、カンボジア国での「高濁度向けパッケージ型高速ろ過システムの普及に向けたビジネス化実証事業」をテーマに応募し、このほど「ビジネス化実証事業」の1つとして採択されました。

JICAは、開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援しており、「中小企業・SDGsビジネス支援事業」として、ビジネスの検討段階に応じた3つの支援メニュー「ニーズ確認調査」、「ビジネス化実証事業」、「普及・実証・ビジネス化事業」を用意しています。ビジネス化実証事業は、提案製品/サービスが顧客に受け入れられるかを確認したうえで、現地パートナーの確保などにより、製品/サービス提供体制を構築し、ビジネス運営に向けた準備を行うとともに、収益性の検証などを通じて、より精緻なビジネスプランなどを策定するものです。

カンボジアでの今回の実証事業では、濁度が大きく変動する雨季と乾季において、当社独自の繊維ろ過材を用いた「高濁度向けパッケージ型高速ろ過浄水システム」の浄水性能が現地に適合することを確認するとともに、現地水道事業者の実証機運転による操作性・維持管理性の評価を得ることで、同国でのろ過浄水システム販売のためのビジネスプランを策定することを目的としています。

カンボジアの都市部では、河川水を浄水処理し、生活用水として利用している一方で、地方都市や農村部は、汚れた河川を水源として安全で安心な水にアクセスできない生活を余儀なくされています。さらに、水を汲んだ重たいタンクを長距離にわたって人手で運ばなければならない、それが女性や子どもたちの役割となっています。

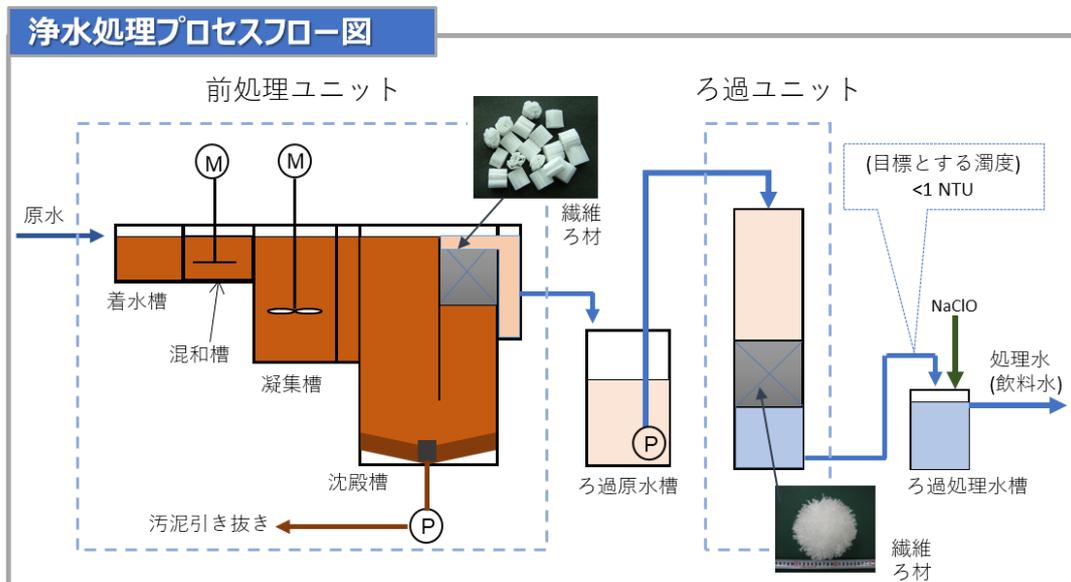
当社の高濁度向けパッケージ型高速ろ過浄水システムは、省スペースなパッケージ型であるため、農村部や遠隔地などの集落に対して分散配置しやすい特長があり、同システムの普及により、地方都市や農村部でも浄水システムが生み出す安価で安全・安心な清浄水の利用が可能となり、生活レベルの向上だけでなく、農業や畜産業などの生産活動の促進が期待できます。

当社は、これまで培った技術を活かし、地域経済の発展や観光業の振興など、地域全体の発展に貢献してまいります。

## 【システムの外観】



## 【システムの概要】



※当社の浄水システム（標準タイプ処理量：1,000 m<sup>3</sup>/日）は、4万人への給水が可能。

※今回の実証では、小規模な設備を用い浄水性能や操作性、維持管理性などを評価する。

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 公示実施者：独立行政法人国際協力機構（JICA）
2. 事業名：2023年度 中小企業・SDGs ビジネス支援事業
3. 案件名：カンボジア国高濁度向けパッケージ型高速ろ過システムの普及に向けたビジネス実証事業
4. 対象国：カンボジア国
5. 契約期間：2024年3月1日～2026年3月31日

（終）

【ご参考】

高濁度向けパッケージ型高速ろ過浄水システムの紹介

- ・日本語版 <https://www.hitachizosen.co.jp/business/field/water/rff.html>
- ・英語版 <https://www.hitachizosen.co.jp/english/business/field/water/rff.html>
- ・英語版動画 [高濁度向け浄水システムのご紹介 \(youtube.com\)](#)

JICA について

<https://www.jica.go.jp/about/index.html>

JICA 民間連携事業ホームページ

[https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv\\_partner/index.html](https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/index.html)